

各 位

### 近畿弥生の会第3回テーマ討論会「水田から弥生社会を考える」のお知らせ

時下ますますご清祥のことと存じます。

このたび、近畿弥生の会では、テーマ討論会「水田から弥生社会を考える」を開催する運びとなりましたので、ご案内をお送りさせていただきます。当該テーマにご関心お持ちの多くの方に出席いただき、ご意見いただきながら実り多い討論会となることを希望しております。お手数をおかけして誠に恐縮でございますが、貴機関におかれまして、添付の要項を掲示・回覧等していただければ幸いです。

開催日時：2016年3月19日（土）午前10：00開会

会場：キャンパスプラザ京都（JR京都駅北） 4階第3講義室

\*プログラム詳細は、別添の要項を参照ください

主催：近畿弥生の会（代表・伊藤淳史）

問合せ：

伊藤淳史（京都大学文化財総合研究センター）

ito.atsushi.8e@kyoto-u.ac.jp

市村慎太郎（大阪府立近つ飛鳥博物館）

ichimura@occh.or.jp

## 「水田から弥生社会を考える」

### 【趣旨】

水稲農耕社会である弥生時代の研究にとって、水田を研究することの意義は、社会の根本を支える生業としての稲作や、それにかかわる技術の水準を知ることばかりではない。行為に関わる集団の性格や規模、集団間の関係などの情報を読み取り、社会の基本構造を明らかにしようとするところにもあるだろう。その意味で、居住空間である集落や、埋葬の場としての墓域の研究とならば意義は変わることはなく、相互に関連づけ、検証し合いながら研究を進めることが求められる分野といえる。

一方で、水田遺跡そのものは、給水が不可欠な生産の場であるという地形環境の厳しい制約のもとで成り立っていることから、研究の初期の段階から、土地条件や環境を解析する諸分野の知識と手法が積極的に導入され、調査・分析技術の向上がはかられてきた。近畿地方では、とくに河内平野の低地帯が、洪水で埋積した前期以降各時期の水田が周囲の状況も含めて良好に把握できることから、重要なフィールドとなってきた。なかでも、1989年以降長きにわたって継続された池島・福万寺遺跡の調査からは、精緻な堆積環境の復元に立脚した広域での水田景観の変遷が明らかになっており、今後に欠くことのできない成果と評価される。そして、この成果を活かした集団組織の解明や社会変動把握の試みも、提出されつつあるのが現状と言える。

こうしたなかで、2008年以降、それまで未発見であった大和盆地においても、広大な範囲にひろがる弥生前期水田の存在が明らかになってきた。中西・秋津遺跡などである。詳細な報告は今後を待たなければならないが、これらは、これまで培われてきた弥生水田の研究成果と照らし合わせて、また地域の弥生社会のなかで、どのように評価され位置づけられていくのであろうか。あわせて、すでに存在そのものは珍しい事例ではなくなっている各地の弥生水田についても、近年の集落や墓制の研究から提起されてきた集団構造や社会組織についての議論に鑑みるならば、これらも再検討を試みる必要があるのではないだろうか。

以上の問題意識から、近畿地方における弥生水田研究の現状を確認しつつ、社会論としての水田研究という方向性を主たる目標に掲げて、テーマ討論会を開催したい。水田遺跡や低地遺跡などの調査と研究に従事され、すぐれた業績を挙げられてきた方々を中心にその成果を議題として提供していただき、弥生時代研究に関心を寄せる私たちにとって、水田あるいは生産領域といった考古学情報への認識を深める場となることを期待する。もとより、結ばれる弥生社会像はさまざまであろうが、参会したそれぞれが、より有意義な研究方向を考える契機となることが、討論会の最大の目的である。

# 「水田から弥生社会を考える」

◆開催趣旨 弥生水田研究の現状を、近畿地方を中心とした近年の重要な調査・研究とともに確認し、集落や墓制の研究から呈示されている集団構造や社会組織などの議論をふまえながら、社会研究としての水田や生産領域研究の意義や課題を考える。

◆開催日 **2016年3月19日(土) 9:30開場、10:00開会**

◆会場 **キャンパスプラザ京都 4階第3講義室**

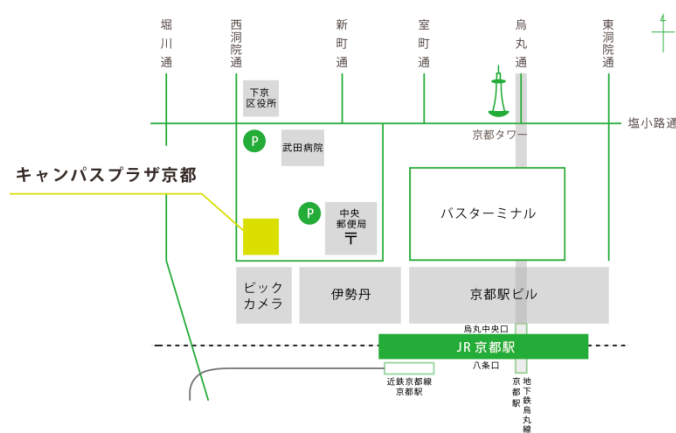
京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR 各線

「京都駅」下車。徒歩西へ約5分。

〒600-8216 京都市下京区西洞院通

塩小路下る東塩小路町 939

<http://www.consortium.or.jp/about-cp-kyoto>



◆参加費 500円(資料代込み・予定)

◆懇親会 会費 5,000円(予定)

◆プログラム

9:30 開場

10:00~10:30 開会挨拶・趣旨説明 伊藤 淳史(京都大学文化財総合研究センター)

10:30~11:15 発表1 岡田 憲一 氏(奈良県立橿原考古学研究所)

「奈良盆地西南部・葛城地域における水田遺跡と集落動態」

コメント 川上 洋一 氏(奈良県教育委員会)

11:15~12:00 発表2 井上 智博 氏(公益財団法人大阪府文化財センター)

「池島・福万寺遺跡における弥生時代水田域構成の動態」

コメント 廣瀬 時習 氏(大阪府立近つ飛鳥博物館)

12:00~13:00 休憩

13:00~13:45 発表3 大庭 重信 氏(公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所)

「西日本の弥生時代水田の灌漑システムと社会」

コメント 別所 秀高 氏(公益財団法人東大阪市文化振興協会)

13:45~14:00 休憩

14:00~17:00 討論 司会・進行 伊藤 淳史(京都大学文化財総合研究センター)

市村慎太郎(大阪府立近つ飛鳥博物館)

◆問合せ 伊藤 淳史 [ito.atsushi.8e@kyoto-u.ac.jp](mailto:ito.atsushi.8e@kyoto-u.ac.jp)

市村慎太郎 [ichimura@occh.or.jp](mailto:ichimura@occh.or.jp)

◆主催: 近畿弥生の会 <http://kinkiyayoi.webcrow.jp/> (アドレス変わりました)